

# 特許紹介

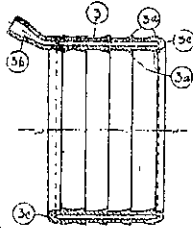
第29巻第10号 昭和18年10月

## 管接合装置

(特許第155336号 發明者)  
(特許権者) 高松海軍

填料の填充が簡易で且接合完全なるやう考案したものである。相接合する管(1)(2)の填料室(5)内にゴム袋(3)を挿入する。其のゴム袋(3)は、鋸齒状突縁を設けた二重環状である(圖-1)。

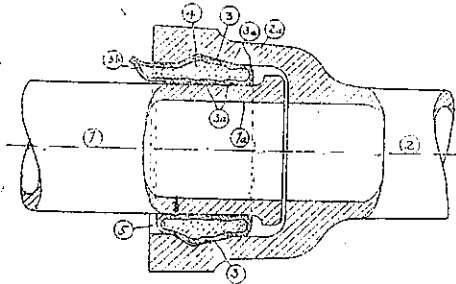
圖-1.



此の袋を填料室(5)に挿入し、其の一端縁に設けた注入口(3b)より可塑性流動體を内部に加壓填充して硬化させたものである(圖-2)。

本接合装置は、ゴム袋により填充物の外部は弾性を有し、又

圖-2.



内部は可塑性流動體の硬化により硬性を保持し、鋸齒状突縁(3a)の作用により管内壓力の増加に従ひ益々密接作用を強固するものである。

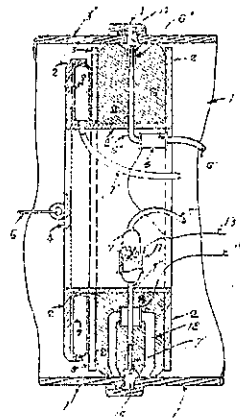
## 布設せる水道管のバックング補充装置

(特許第156166号 發明者)  
(特許権者) 渡邊時雄

布設水道管の漏孔及ソケットを探求し其の状況に應じた充填工作を爲し得るやう考案したものである。布設水道管に内接し摺動するピストンの摺動面をゴムの如き柔軟にして良く管壁の凹凸面に密着し、筒調節器(9)により脹着の程度を任意に變更し得るものとする。又摺動面には氣體及充填材の出口(6''')(7''')を開口させたものである(圖-3)。調節器(9)は其の水壓を減ずる

事により、ピストンリングを曳行し、又は之を増加する事により停止修繕を行ふのである。

圖-3.

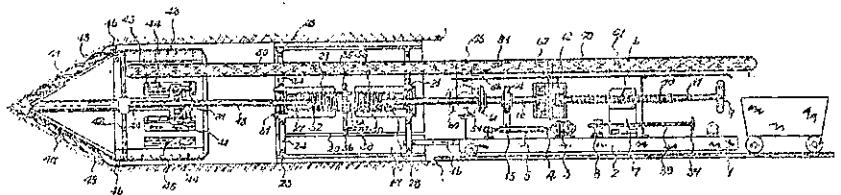


## 坑掘鑿機

(特許第156333号 發明者)  
(特許権者) 岡下一郎

特に武蔵野地方の土層たる赤ボコ、其他の火山灰土層又は之より軟弱なる堆積土層を、中心線に狂ひなく然も

圖-4.



連続的に掘鑿し得るやう考案したものである。推進臺車(2)の前方に其の外周を伸縮し得べき可變圓筒(17)を支持させる(圖-4)。可變圓筒の支持柱(16)に設けた殺(26)に中心回轉軸(13)を軸架する。中心回轉軸は推進臺車に設けた推進軸(11)に依り進退し得るやうにする。中心回轉軸の先部に回轉圓筒(43)を設け、回轉圓筒の内部に數個の土上昇板(44)を設ける。回轉圓筒の先部に切削刃部を有する數枚の切削板(47)を設け切削板の先端は1個所に集めて圓錐形を形成させる。推進臺車及可變圓筒の内部に互り軌條を設け、軌條にべ

ルトコンベヤを移動自在に設ける。ベルトコンベヤは中心回転軸と共働し得るやうにしたものである。

#### 緩結性セメント製造方法

(特許第 157362 号 発明者 滝沢治一 伊野浩三郎)  
特許権者 深野セメント株式会社

練り始めから凝結硬化を開始する迄の時間を、高温度

に在り乍ら著しく延長し得る如き緩結性セメントを製造せんとするもので、特に高温度の地熱を受ける油井用に供せんとするものである。即ちセメント塊塊に酸性白土を添加したものと粉末に其の早凝結性を消滅せしむべき注水乾燥処理を施した後粉碎するのである。